

II. 実施方針

1 震源（波源）の設定

波源の設定に関しては、想定される被害の大きい想定地震（明治三陸地震、宮城県沖連動型地震、延宝地震）のうち、2 ケースについて津波シミュレーション及び被害想定を実施し、津波浸水想定区域図等を作成するための波源モデルとして考える。

また、参考として、最も到達時間が早くなる茨城県沖・福島県沖の地震についても、津波到達時間を調査・整理するためのものとして想定地震に加える。

波源は、現在中央防災会議が公表している「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」の検討結果を基本として、茨城県の防災環境（津波防災施設状況、住民意識、風土）、近隣県の状況を考え、委員会の意見を参考に見直しを行う。

図 II-1 におおよその位置を示す。

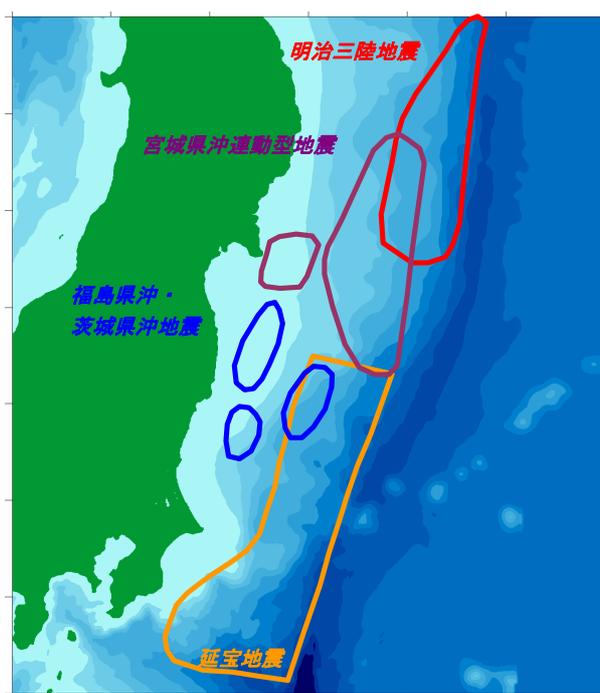


図 II-1 想定地震波源位置